

令和 5 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 5 年 5 月 22 日（月）18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	大麻まちづくりセンター	参加人数	6
出席議員	村武まゆみ、芦谷英夫、田畑敬二	議長	○
テーマ別に 出た意見	<p>【総務文教】子どもたちと地域の関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大麻地区は小学生 3 人、中学生 6 人、未就学児いなく、この先子どもはほとんどいなくなる。それに対しどう危機意識を持つか。 ・子どもたちと地域の関わりをどうつくるのか、子どもの親は若い世代で、若い人とどうかかわるか、どう地域課題に関わるか。 ・次世代とまちづくりセンターとのかかわりをどうつくるのか、まちづくりセンターにどう興味を持ってもらうか、地域への意識をどう高めるか、仕組みづくりが必要である。 ・まちづくりセンターとして、夏休みに耐火煉瓦を使ったピザ窯をつくることにしている。 ・まちづくりセンター、地区社協、婦人会などの役員が被っている。若い人が入るようにする必要がある。 ・家庭環境や意識の問題がある。高齢者の上から目線では通用しない。若い人に寄り添う必要がありとにかく若い人の参画である。 ・有償ボランティアの次代で、役員などに手当を出す必要がある。 ・三中トークをやると地域の良さが出てくる。中学生が地域に興味を持ってくる。 <p>【福祉環境】健康について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の認知症の方の見守りをしている（チーム SOS）。地域の関係性を持続していくことが大切である。 ・サロン活動も頑張っている。交通手段が課題である。 ・放課後等デイサービスとはどのような事業なのか。どんどん増えている気がする。 ・保育園の ICT 化についてもっとわかりやすく説明してほしい。 		

	<p>【産業建設】農業・林業・漁業の問題点と希望について 農地の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうぞを植えたいが、どうすればいいか。 ・観光について、石見地域で考えて、観光資源を見直そう。 ・ダム等を観光資源として検討 ・陸上養殖を実施するにあたって、水産試験場の役割は。 ・旭温泉・美又温泉等の交流人口を増やす対策は。
自由意見	<p>【回答したもの】※回答概要も記載</p>
	<p>【持ち帰るもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部は観光入込客が多いが、西部は少なくゆうひパークも多くない、美肌温泉、石見神楽など振興を図る必要がある。(産業) ・確定申告窓口が大麻支所であったが、今はなくどうなったのか。(福祉) ・地籍調査の進捗率はどうなっているか。(産業) ・折居海水浴場に駐車場を整備してほしい。(産業) ・せっかく地域井戸端会をしても若者がいない。若者の意見を聞く方法を考えてほしい。(広報) ・なぜ社協が生活支援事業(コーディネーター)を受けなかったのか?地域には必要である。(福祉)

令和5年6月6日 議会広報広聴委員 村武まゆみ